

Google Cloud

2024年のデータと AIのトレンドに 関するレポート

生成 AI の影響



新たな機会、 新しいテクノロジー、 新しいスキル。

非常に画期的な生成AIが到来しました。この革命的なテクノロジーは業界に革新をもたらし、私たちの生活をこれまでになく大きく変革します。データは、AIの推進剤でありその有効性を高めます。エンタープライズで生成AIを真に活用するためには、さまざまなシステム間で構造化データと非構造化データにアクセスして管理、有効化できるようにする必要があります。

さらに、モデルの強化やカスタマーエクスペリエンスの改善にあたって理解を深めるうえで、お客様のデータはAIとMLの恩恵を受けられます。成功は、責任あるデータの使用に関する原則を守り、高レベルのデータ品質とセキュリティを維持しながら、これらすべてを達成することにかかっています。

この新しい時代に応じてデータスタック全体に変化が波及しています。テクノロジーがどのようにシフトしているのかについて詳しく把握するため、Googleは数百人のビジネスリーダーとITリーダーを対象に、生成AIの活用についての目標や戦略に関するアンケート調査を行いました。このレポートでは、エンタープライズ内での生成AIの活用を模索する組織に向けて貴重な分析情報を提供しながら、2024年以降に関するリーダーたちの視点について掘り下げます。



5大トレンドの概要

1

生成AIは組織間の分析情報の提供を加速化します。

所要時間: 5分

2

データとAIの役割は曖昧になるでしょう。

所要時間: 6分

3

AIによるイノベーションは厳格なデータガバナンスにかかっています。

所要時間: 3分



4

運用データは、エンタープライズアプリ向け生成AIの可能性を引き出します。

所要時間: 4分



5

2024年は、データプラットフォームの急速なモダナイゼーションの年となるでしょう。

所要時間: 5分



生成 AI は組織間の分析
情報の提供を加速化し
ます。

2024年、データの意思決定者の3分の2近くが分析情報へのアクセスの民主化を期待しています。
84%は、生成AIが組織による分析情報へのアクセスを速めるのに役立つと考えています。

検討すべき理由

生成AIがテクノロジー情勢をどれほど大幅に変えたかをいくら誇張してもしすぎることはありません。ビジネスインテリジェンス（BI）の場合、ツールがより身近になるにつれ、非技術系のチームメンバーさえこれらの分析情報からメリットを受けるようになり、これまで以上に速く生産性を向上させ、知識を普及させることができます。これは、組織全体でデータリテラシーが高まり、よりスマートな意思決定がなされ、最終的には市場でより大きな成功を収められることを意味します。

今日、非技術系ユーザーの52%がすでに生成AIを使用して、分析情報を引き出しています。

最新のBIツールは、必要とする人全員にデータをもたらす方法をすでに実現していました。販売担当者のCRMに表示されるアカウントの分析情報など、データに最も関連性のあるコンテンツに組み込まれたレポートはわかりやすい例です。しかし、こうした分析情報は常にアナリストが慎重にキュレートする必要があります。エンドユーザーは、常にデータから削除される段階です。大規模言語モデルをビジネスデータに接続することで、その差を縮めます。チームメンバーは、直観的に会話形式でお客様のデータとやり取りすることができます。または単にお客様のデータに「話しかける」か、ビジネス内で簡単な検索をかけることによりレポートとダッシュボードを作成できます。実際、このレポートのための調査に参加した組織の多くはすでにこれを実践に移しています。

「財務データの理解、開示、独自のレポートにおける深い専門知識によって、Moody'sではファインチューニングされた大規模言語モデルの開発が可能になっています。Google Cloudの生成AIにより、お客様と従業員はこれまで以上に速く新しい分析情報を生成できます。」

Moody's

NICK REED 氏

Moody's Corporation、チーフ プロダクト オフィサー

AIはすでに最も先進的なデータサイエンティストや事業部門の中で活用されています。

基本的に、自然言語を通じて人々を重要なビジネスデータに結び付けるツールは、組織のスキルセットにおける既存の問題を改善するうえで大きな力になります。

2024年以降、より多くのビジネスユーザーが検索を使用し、会話型UIを活用してデータに「話しかける」ことが予想されます。これは、レポート、ダッシュボード、直感的でインテリ

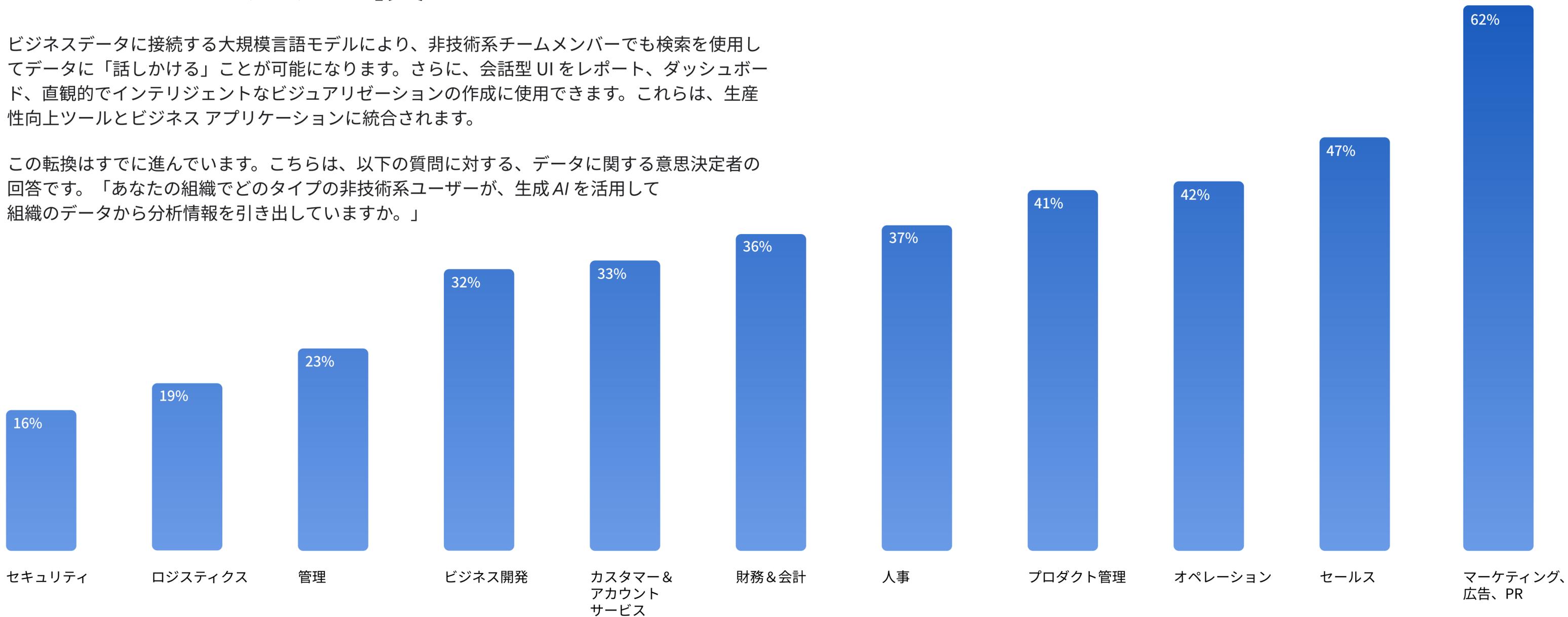
ジェントなビジュアライゼーションを作成するためであり、これらは生産性向上ツールとビジネスアプリケーションに統合されます。多くのアプリケーションでは、どのように他のユーザーが質問に対する適切な答えを見つけたかを確認できるため、集約された知識からメリットがもたらされます。また、どのインタラクションが1日、四半期、年単位で最も大きな影響を与えたかに関する分析情報も得ることができます。



すべての人に役立つ AI

ビジネスデータに接続する大規模言語モデルにより、非技術系チームメンバーでも検索を使用してデータに「話しかける」ことが可能になります。さらに、会話型UIをレポート、ダッシュボード、直観的でインテリジェントなビジュアライゼーションの作成に使用できます。これらは、生産性向上ツールとビジネスアプリケーションに統合されます。

この転換はすでに進んでいます。こちらは、以下の質問に対する、データに関する意思決定者の回答です。「あなたの組織でどのタイプの非技術系ユーザーが、生成AIを活用して組織のデータから分析情報を引き出していますか。」





「Wendy's は 50 年以上前に、近代的なドライブスルー システムを業界で初めて導入しました。引き続き Google Cloud と協力し、ドライブスルーのサービスに新しいイノベーションの波を起こしていく計画です。Google Cloud の生成 AI テクノロジーは、真に差別化された迅速でスムーズな顧客体験を実現する大きなチャンスを生み出します。従業員は引き続き、美味しい料理を作り、繰り返し来店していただけるようにお客様と関係を築くことに注力できます。」

TODD PENEGOR 氏

Wendy's 社、代表取締役兼 CEO

データとAIの役割は曖昧になるでしょう。

回答者の80%がデータロール間の境界線が曖昧になり始めていると回答しています。



検討すべき理由

AIの使用がさらに普及するにつれ、企業が元データからAIへと移行する速度はますます重要になります。

このプロセスを習得した組織は、よりの確な意思決定を行い、新製品やサービスをより迅速にリリースして、優れたカスタマーエクスペリエンスを提供できるようになるでしょう。

プロセスが効率化されるにつれ、データとAIの役割がますます曖昧になります。これは、それまでサイロ化していたチームがこれまで以上に緊密に連携する必要があることを意味します。

「私が幼い頃、母は休暇を計画するのに旅行代理店で何時間も費やしていました。現在は、Google Cloud を使って生成AIを組み込むことで、chatbot内に独自の旅行コンシェルジュを作成できます。お客様に旅行の計画という枠を超えていただけるよう、ユニークな旅行体験のキュレータをサポートしています。」



MARTIN BRODBECK 氏
Priceline 社、CTO

多くのデータアナリストは、これまでデータサイエンティストのものであった責務を担っており、その逆もまた同様です。

データ分析とエンジニアリング、AI、ビジネス分析は、組織内で最も不足しているスキルです。生成AIは、既存のデータチームの生産性を向上させ、ワークロードを増加させる機会を提供し、ひいてはそこで拡大するスキルギャップをサポートします。シームレスにデータとAIプラットフォームが使用できるようになることで、組織は、データをAIへの取り組みへと促すことによって生産性を向上させ、イノベーションを加速させることができます。

ユーザーがデータとAIワークフローを効率化できるように、データとAIツールの相互連携もますます進んでいます。

この連動により、ユーザーは以下のことが可能になります。

SQL、Python、Sparkなどの複数のコーディング言語をサポートする、データエンジニア、アナリスト、サイエンティストのための共用ワークスペースを確保できます。

CI/CD、変更履歴、ソース管理などのソフトウェア開発のベストプラクティスをデータアセットに拡張することで、コラボレーションを向上させ、引き継ぎを改善します。

調査によると、デジタルリーダーの半数以上（54%）は、スキル不足により変化のペースについていくのを妨げられていると回答しています。

Nash Squared Digital Leadership Report, 2023



生成AIもさらに技術的なタスクを完了するための方法を従業員に提供しています。たとえばツールは、財務レポートシステムを更新するために必要なコードの新しい行を提案したり、マーケティングキャンペーンのAバージョンとBバージョンについて説明したり、人間の従業員が受け取って本番環境に実装する最初の下書きを作成したりすることができます。

The organization of the future: Enabled by gen AI, driven by people (McKinsey & Company, 2023年)。

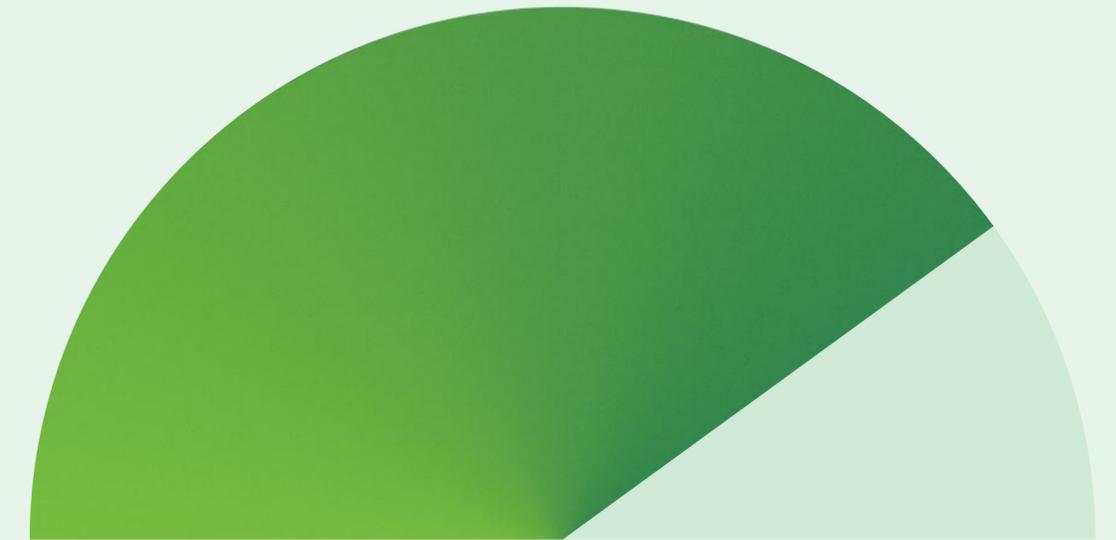


AIを直接データに組み込むことで、形式にかかわらずその可能性を最大限に発揮できます。

組織がデータの可能性を最大限に引き出せないという大きな課題の原因は、現在生成されている膨大な未開拓の非構造化データにあります。これには、画像、ドキュメント、動画などの形式が含まれます。非構造化データは全データの約80%を占めると推定されていますが、現時点でこれらのデータは組織によって活用されていません。

スプレッドシートやデータベースなどの固定のフィールドと列で組織によって特徴づけられる構造化データは、従来の手法で簡単に処理して分析できます。しかし、ソーシャルメディアの投稿、メール、顧客との通話の録音、臨床文書やセンサー測定値といった非構造化データは複雑で解釈しにくいことが多く、有益な分析情報を簡単に抽出することができません。

高度なAIとMLテクノロジーの登場は、組織がデータを利用する方法を一変させました。これらの最先端のテクノロジーは、形式、構造化、半構造化、非構造化にかかわらず、すべてのデータの可能性を最大限に活用する比類のない機会をもたらします。同様に、マルチモーダルAIによって、エンタープライズデータのモデルをチューニングして特化させる際に新たなレベルの効率と精度が引き出され、組織の可能性がはるかに広がりました。テキストエンベディングにより、複雑で時間がかかる前処理の必要なしに、データで直接ベクトル検索を行うことができます。これにより、関連情報を見つけ、パターンやトレンドを特定し、ドキュメントのようなソースで同様の非構造化データをクラスタリングするプロセスが簡単になります。



2025年までに全世界のデータの80%は非構造化データになるでしょう。

VentureBeat、2022年

AIによるイノベーション
は**厳格なデータガバナンス**
にかかっています。



組織の66%では、少なくともデータの半分がダークデータであり、重大なリスクが生じています。

データガバナンス戦略を計画する際の5つの要因（Forbes、2023年）&ダークデータ（Gartner Glossary、2024年）。



検討すべき理由

この新しいテクノロジーの爆発的な普及には欠点もあります。多くの組織は、特にデータの品質に関して、新しい脆弱性と弱点を発見しています。LLMをデータに適用するだけでは不十分です。これらのモデルは質の高いエンタープライズデータに即している必要があり、そうしなければハルシネーションが生じるおそれがあります。データガバナンス、品質、信頼性に対する実践的なアプローチを実施する組織は、AIで具体的なビジネスの成果を得るための確固たる足場を築くようになります。

ほとんどの回答者（45%）は、組織のデータ品質にやや自信があるのみであり、11%はあまり自信がないと回答しています。

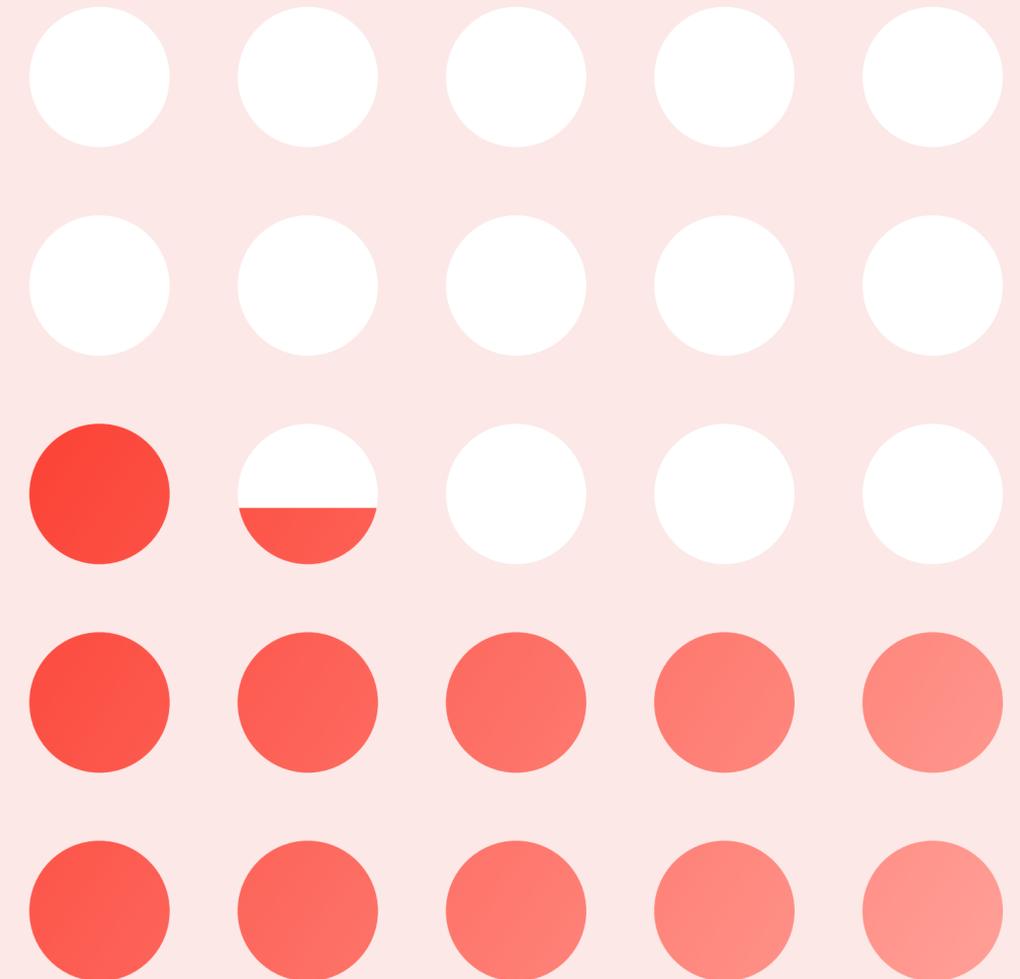
同様に、ほとんどの回答者（54%）は組織がデータガバナンスに関してやや成熟しているのみであると考えており、非常に成熟していると回答したのはわずか27%でした。

前向きな点として、多くの組織がすでにデータの精度、品質、信頼性を確保するために対策を講じています。以下は、回答した組織の大半に共通することです。

- データドリブンな文化を構築していると考えている。
- データガバナンスの監視を一元化している。
- 一元化されたポリシー管理、モニタリング、監査を構築している。

組織のデータ品質に十分な自信を持っているのは、回答者の半分未満（44%）のみでした。

2024年のGoogle Cloudカスタマーインテリジェンスのトレンドに関するアンケート調査





Snap Inc. は Google のデータクラウドを使用して、データ所有権が分散されていてもガバナンスと表示設定が一元化され、分散データ全体でビジネスドメイン固有のセルフサービスデータプラットフォームを提供しています。データの効率性が向上することにより、ユーザーエクスペリエンスの強化とエンゲージメントの向上に注力できるようになっています。



Carrefour は Google のデータクラウドを使用して、データセキュリティを向上させ、ビジネスクリティカルなアプリケーションへの安全なアクセスを強化しながら、ゼロトラストネットワーク保護を実現しています。そのデータ中心のインフラストラクチャにより、迅速に変更を加え、顧客に最高品質のサービスを提供できる柔軟性が生まれています。

組織が求めるべきこと

組織がデータ暗号化を完全に統合する、安全性を重視して設計されたデータプラットフォームを求めることは重要です。適切なプラットフォームは、ユーザーが所有するデータを自動的に分類し、メタデータを活用しながらデータを論理的に統合して整理する機能を提供します。これにより、ビジネスの背景情報に基づいて一元的にデータの保護と管理を行い、データプロファイリング、品質、リネージを中心に組み込みの自動化とインテリジェンスを利用し、さらにデータをより適切かつ大規模に管理できます。これによって以下が実現します。

データ品質。データの完全性、精度、有効性の測定のために自動的に生成されるデータ品質ルール。

エンドツーエンドのデータリネージ。

データフローをトラッキングし、インパクト分析を実行して、データとAIモデル全体でガバナンスとコンプライアンスの基盤としてリネージを使用するために自動生成されるリネージ。

データとAIアセット向けの統合ガバナンス。

一元化されたポリシー管理、モニタリング、監査によるデータの認証、保持、分類。

69%

31%

従業員の69%が過去12か月間に組織のサイバーセキュリティのガイダンスを無視しました。

Gartner Predicts Nearly Half of Cybersecurity Leaders Will Change Jobs by 2025 (2023年)

運用データは、エンタープライズアプリ向け生成AIの可能性を引き出します。



組織の71%が、生成AI機能と統合されたデータベースを使用する予定です。



検討すべき理由

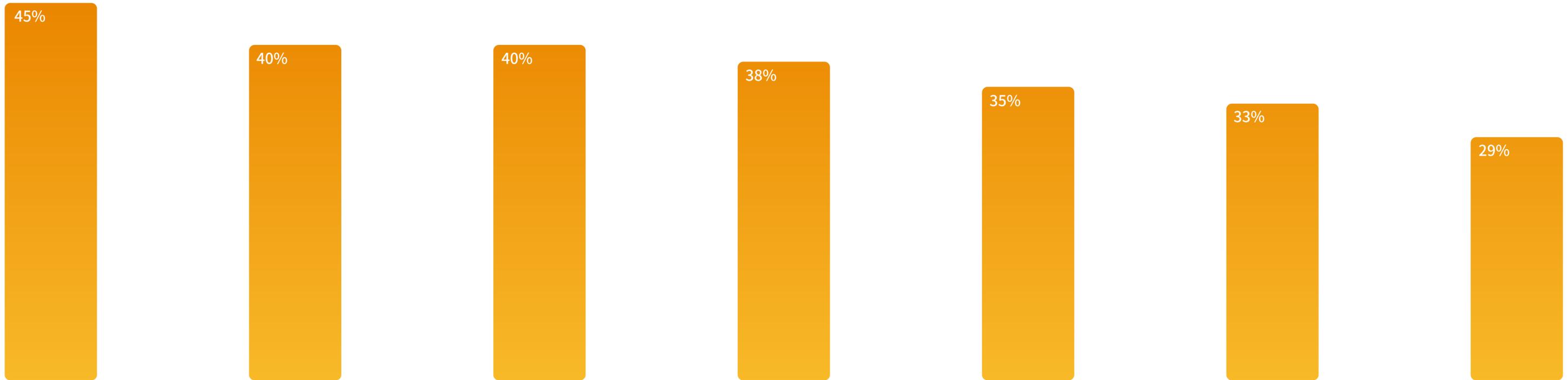
企業は、大規模言語モデル（LLM）の可能性に大きな期待を寄せています。これらの企業は、Gemini やその他の大規模言語モデルのようなツールの力を経験していますが、こうしたツールのクリエイティブな性質がほとんどのエンタープライズのユースケースに適していないことも認識しています。エンタープライズ向け生成AIアプリケーションは、LLM だけでは対処できないさまざまな課題に直面しています。これらのアプリケーションは、正確かつ最新の情報と、状況に応じたユーザー エクスペリエンスを提供する必要がありますが、費用を抑えながらこれらすべてに対処しなければなりません。

ベクトルをサポートするオペレーショナルデータベースとウェアハウスは、LLM とエンタープライズ向け生成 AI アプリの間のギャップを解消するのに役立ちます。これが、ベクトル検索とベクトルデータベースに対する高い関心を寄せている理由であり、検索拡張生成（RAG）が LLM と生成 AI モデルの強化と拡張に重要な手法である理由です。業界全体で多くのイノベーションが生み出されており、それらの多くは、デベロッパーに特に人気の高いデータベースの 1 つである PostgreSQL を含むオープンソース コミュニティを活用しています。



AI搭載のデータベースに 組織が求めるもの

AIモデルへのシームレスな接続、RAGのような手法を使用したLLMの根拠づけ、自然言語で行うデータベースの管理は、データベースでAIを使用する際の最も重要な機能となっています。



AIモデルへのシームレスな接続

検索拡張生成（RAG）などの手法を使用してLLMの根拠づけをする機能

データベース管理、ガバナンス、コンプライアンスを自然言語で行う機能

自然言語を使用してコードを生成する機能

データベース移行とコード変換の簡素化

AIツールとフレームワークとの緊密なインテグレーション

組み込みで高パフォーマンスなベクトル検索

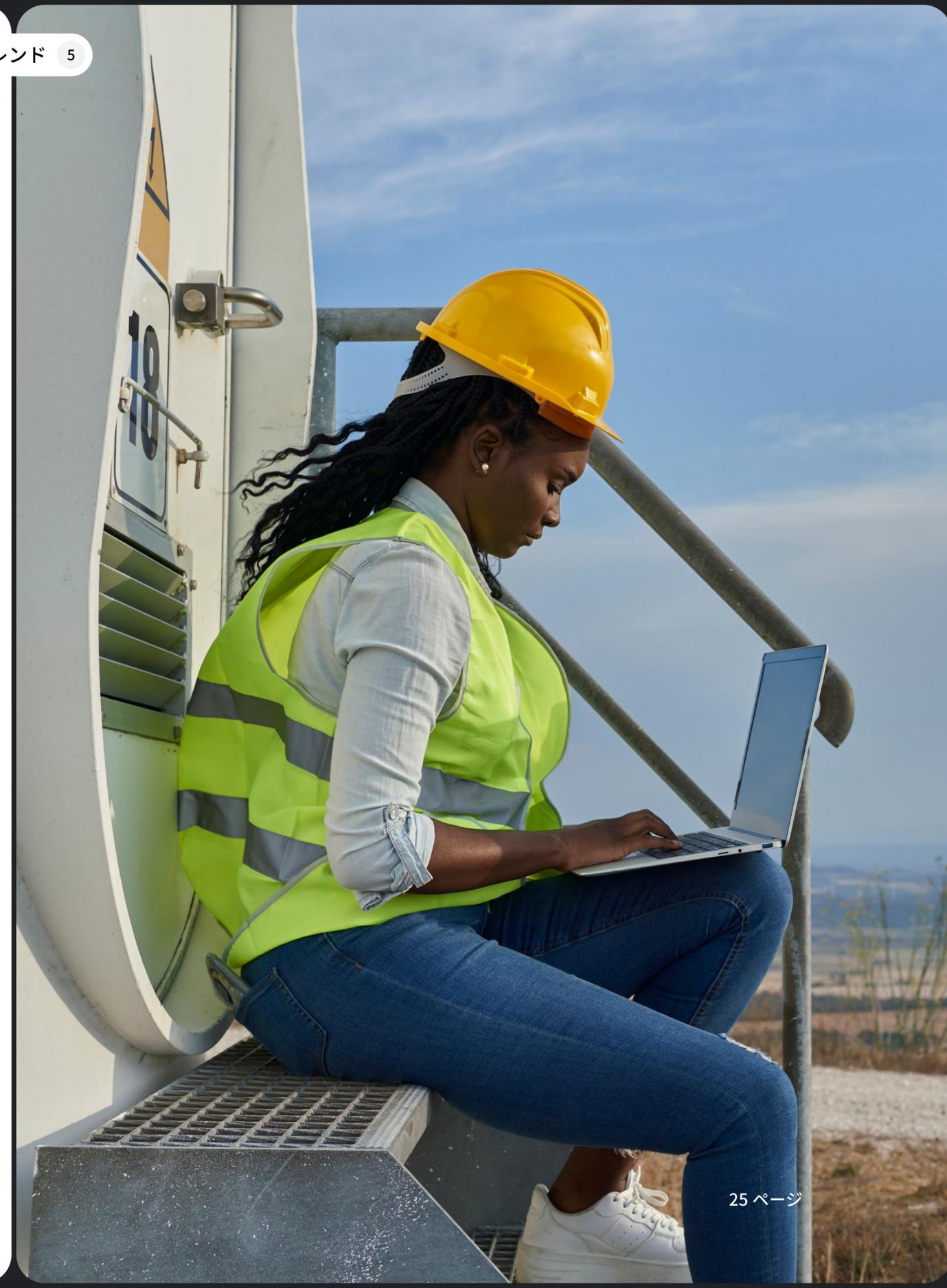
正しく理解して活用しましょう。

生成AIの真の力が発揮されるのは、運用データが生成AIと統合され、エンタープライズアプリケーション全体にわたってリアルタイムで高度にパーソナライズされた、かつコンテキストに合ったエクスペリエンスを提供できるからです。簡単に言えば、関連するビジネスデータを保持する生成AI対応のオペレーショナルデータベースが、企業で生成AIを活用する際の鍵となります。

利便性の高いデータベースは、AIファーストへと進化し、ベクトル検索、AIモデルへのシームレスな接続、SQLに対する自然言語サポート、そしてAIツールやオープンソースフレームワークとの緊密なインテグレーションなどのテクノロジーを深く統合します。これらはすべて、オペレーショナルデータベースにネイティブに組み込まれ、必要不可欠となります。

生成AI機能を統合していないデータベースは、時代遅れになる可能性が高くなります。

AIとオペレーショナルデータをより緊密に結び付けることで、デベロッパーは迅速に反復処理を行って、すべての利用可能なデータでエクスペリエンスを向上させることができます。データベースはすでにすべてのアプリケーションを強化していることから、組織は読み込まれたデータでこれを行うことができます。完全に新しいシステムについて学んだり設定したりする必要がなく、費用対効果が大幅に高くなります。さらに、PostgreSQLのようなオープンソーステクノロジーにより、デベロッパーは使い慣れたツールと機能ですぐに始めることができます。



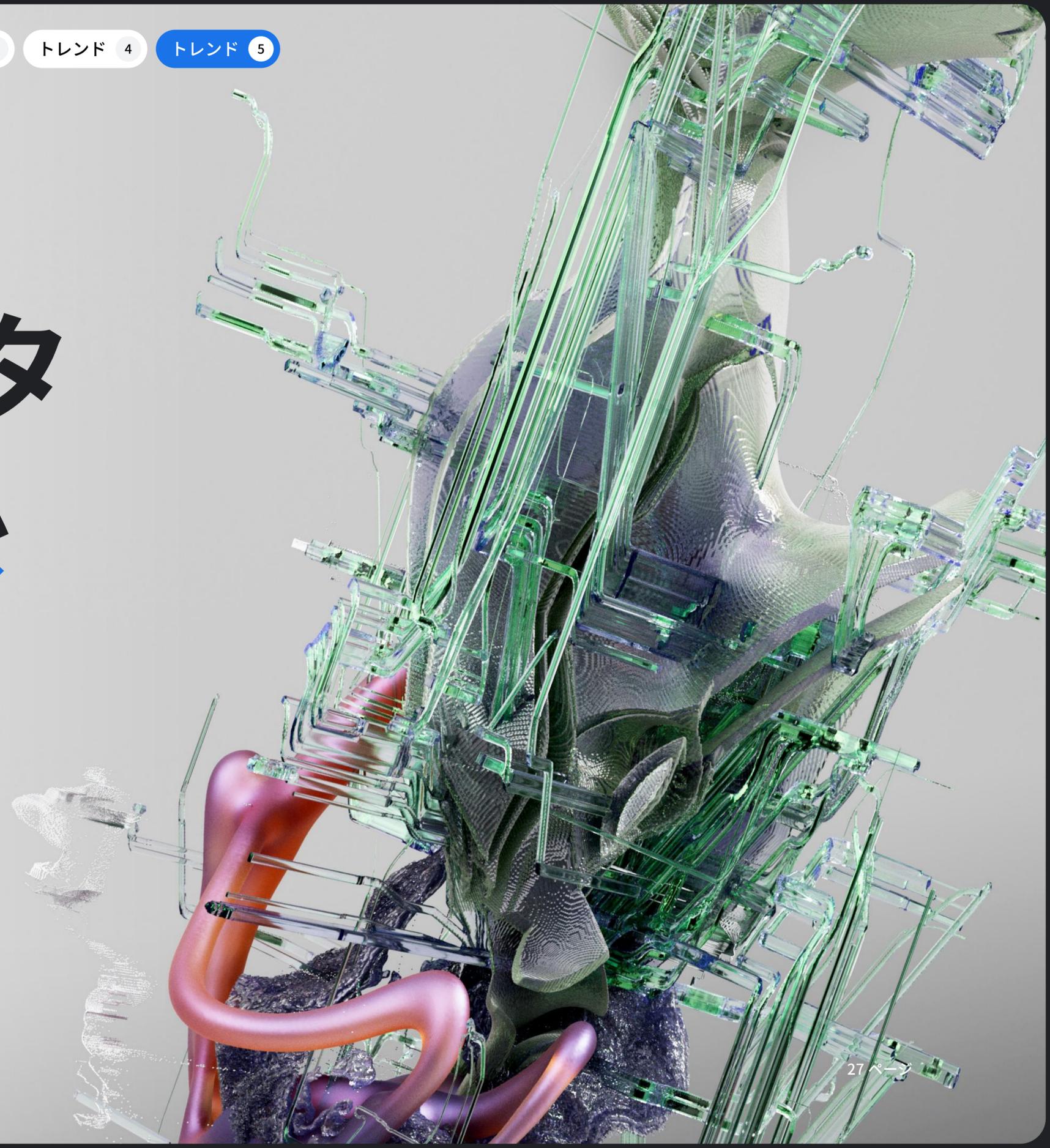


「私たちは、データベース市場でベクトルの保存に力を入れている新ソリューションをいくつか調査し、試用しました。そして、そこで Linear の既存のデータ量と費用対効果の高いソリューションを見つけるという目標を考慮し、pgvector のサポートが追加された時点で、Cloud SQL for PostgreSQL を使用することに決めました。そのスケーラビリティと信頼性には驚かされました。このプロダクトはまた、既存のデータベースの使用状況、モデル、ORM などとも適合したため、私たちのチームにとって使いこなすのは簡単でした。」

TOM MOOR 氏

Linear 社、米国エンジニアリング部門責任者

2024年は、データプラットフォームの急速なモダナイゼーションの年となるでしょう。



以前のデータベースのAIサポートに非常に満足しているのは1%の組織のみです。これは、**改善の余地が十分にあること**を示しています。



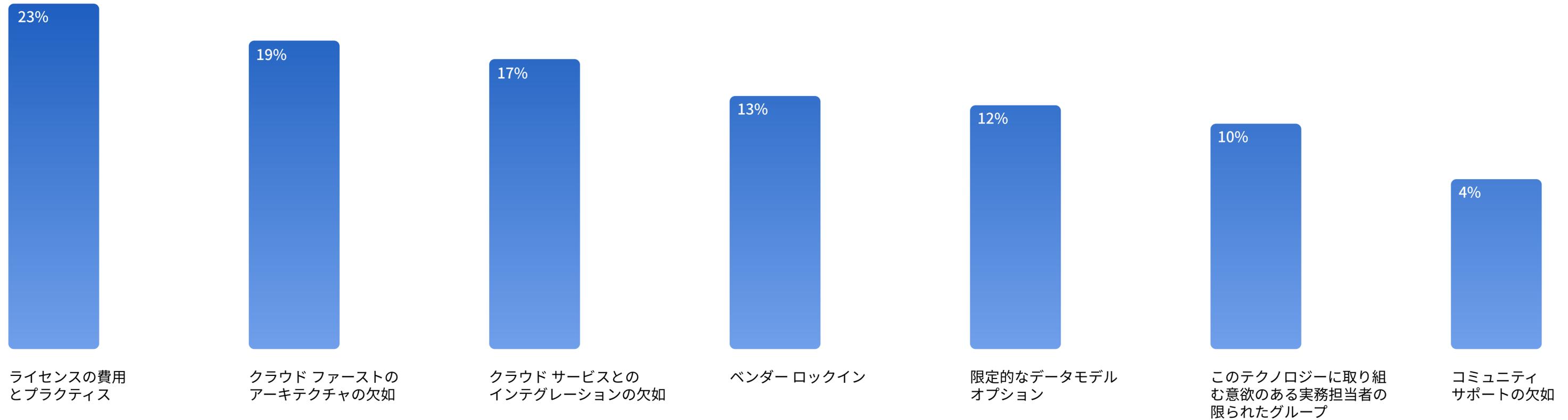
検討すべき理由

生成AIがもたらす機会を活用しようとする組織が増える中、その多くは遅れたテクノロジーと質の低いユーザーエクスペリエンスが原因で以前のデータベースが妨げになっていることを発見しています。古いテクノロジーと質の低いデベロッパーエクスペリエンスに加えて、以前のデータベースも経営幹部の注目を集めています。それは、高額で扱いにくいライセンスとベンダーロックインによって、多くの場合に年間数百万ドルという不要なコストが発生するからです。

生成AIのブームは、データベースのモダナイゼーションに新たな切迫感をもたらしています。それは、ベクトル、モデル、データを使用するための最も普及しているAIツールがPostgreSQLなどのオープンソースデータベーステクノロジーに基づいており、クラウドで実行されるためです。加えて、最先端のAIモデルは主要なクラウドプラットフォームのみで実行されます。



以前のデータベースにおける主な課題



スムーズな移行がこれまで以上に可能となっています。

幸い、以前のデータベースからの移行は、改善と成熟が継続されるデータベース移行ツールとプログラムによってさらに容易になっています。また、AIはこれらのツールを強化するのに役立っています。AIによるコード変換、コード補完、効率の向上を通じて、以前のデータベースから脱却するのがはるかに簡単になっています。

IT意思決定者は、イノベーションロードマップの一部として生成AIなどのオープンテクノロジーの採用を検討しており、大規模なモダナイゼーションプロジェクトを承認するのに前向きです。



「データ移行ツールはずっと存在していますが、最近ではAI支援のコード変換とコード補完を行う機能によりさらに便利になってきています。移行の最も困難な部分は、新しいデータベースに収まるようにデータを変換し、新しいアプリケーションをトレーニングすることですが、生成AIを通じて両方とも簡素化されます。モデルを使用することで、ソースデータベースを参照し、データを移行先データベースに変換する方法を確認できます。すぐに成果が得られ、最終的にはデベロッパーの生産性が高まります。まだ大量のレガシーがありますが、生成AIはハードルを下げ、移行を簡素化します。」

ANDREW STORRS 氏

Aritzia 社、データ エンジニアリング担当 VP



「Character.AI は、自由回答式の会話型アプリケーションの設計と開発におけるパイオニアです。当社の生成 AI プラットフォームは、自社の高度なニューラル言語モデルを活用して、人間のようなテキストレスポンスを生成し文脈的に関連性のある会話でやり取りします。AlloyDB for PostgreSQL に出会ったとき、当社は苦境に陥っていました。当社のサービスの使用率は急激にスケールアップしており、インフラストラクチャのさまざまな部分、特にデータベースに独特のストレスを及ぼしていました。Google Cloud の AlloyDB と Spanner は、エンゲージメントとオペレーションから AI と分析まで、信頼性、スケーラビリティ、コストパフォーマンスをワークロードにもたらしながら、強固な基盤を確立します。」

JAMES GROENEVELD 氏
Character.AI 社、リサーチ エンジニア

同一世代のすべてのデベロッパーが、より効率的なコーディング、データベースパフォーマンス分析情報の改善、強化されたセキュリティ対策のために、AIアプリケーションを構築してAIを活用しています。
あなたもそのうちの1人ですか？



Google Cloud で できること

Google Cloud は、組織がデータを統合して画期的なAIと結びつけ、革新的な分析情報とカスタマイズされたエクスペリエンスをもたらすうえで役立ちます。Googleのシンプルでスケラブル、かつ安全でインテリジェントなデータ統合とAIアプローチを活用することで、企業は単一の合理的なソリューションでデータの可能性を最大限に引き出すことができます。

Googleのデータクラウドがワークロードを統合し、データライフサイクル全体を管理するので、データチームは普及しているオープンソースのエンジンとモデルを使用して、最新のデータドリブンなアプリケーションを開発できます。

また、Googleはすべての人々が必要とするデータに簡単かつ迅速にアクセスし、真の価値を発揮できるようにするために、すぐにデータに対応する最先端のAI/MLと生成AI機能を提供しています。これはすべて、エンタープライズクラスの効率で提供されます。この独自の組み合わせが、元データを組織の価値に変換することに関して、Google Cloudを比類のないパートナーにしています。



他に類を見ないアプローチ



完全に接続されたデータと AI

システムとデータの操作の新たな方法が出現したことで、分析的情報と拡張されたエクスペリエンスが実現する、高品質のエンタープライズデータに基づいた AI モデルを組織が必要とすることは明らかです。

Google のデータクラウドにより、データチームは、生成 AI ツールを使用して BigQuery と AlloyDB 全体でエンタープライズデータを有効活用でき、組み込み機能を利用して容易に AI / ML をデータに直接適用できます。たとえば、BigQuery ML により、データチームは、SQL を使用して ML モデルを BigQuery データに直接構築し、Vertex AI に基盤モデルを呼び出すことさえ可能です。AlloyDB の組み込みベクトルのエンベディング機能では、LLM を強化して生成 AI ユースケースをサポートするのにあたって、データストア内にエンベディングを保存および生成することができます。



統合データ基盤

Google Cloud の統合されたデータ基盤は BigQuery で構築されています。構造化データと非構造化データを AI と統合してデータ エステート全体で分析情報を提供し、一箇所にデータを統合します。この統合されたデータ基盤により、効果的にデータサイロを取り除きながら、データ ライフサイクル全体を管理して、組織内で異なるタイプのユーザーに関するデータアクセス、管理、ガバナンス、分析を容易にすることが可能です。

Google のスケーラビリティの高いアーキテクチャは、BigQuery、AlloyDB、Spanner 間で緊密に統合されたデータ サービスを実現しながら、トランザクションシステムと分析システムを統合します。これにより、基盤となるトランザクションワークロードにほとんど影響を与えずに、Spanner から BigQuery まで容易にデータを分析できます。



モダナイゼーションのための最もオープンなデータ プラットフォーム

Google Cloud は、最もオープンなクラウド プロバイダであるように努めています。ユーザーは、どこにワークロードがあっても、最先端でデータドリブンなアプリケーションを構築できます。Google は、オープンソースとオープン標準をサポートしており、一般的なオープンソース エンジンとモデルに完全に対応したマネージド データベース サービスを提供しています。

AlloyDB Omni と BigQuery Omni により、データの移行に関連する費用、セキュリティリスク、ガバナンスの懸念なしに、Google Cloud、AWS、Azure、Google Distributed Cloud でデータを活用し、アプリケーションをモダナイズできます。これまでになく簡単に、モダナイゼーションプロセスにある企業のニーズを満たすデータ プラットフォームで生成 AI を使用できるようになっています。



エンタープライズクラスの効率性と大規模なセキュリティ

Google のデータクラウドは、効率性、セキュリティ、スケールにおいて業界のリーダーであり、あらゆる規模の組織の厳格なエンタープライズ要件に対応します。

Google は、組織が簡単に低コストで、組織の境界を越えて安全かつ確実にデータを共有し、エクサバイト単位のデータ間で高速にクエリを実行して、何十億ものトランザクションを処理できるようにしています。

次のステップ

2024年が多く組織にとって刺激的で転換点となる1年になろうとしていることは明らかです。生成AIで新しく可能になることを完全に受け入れられるように人とプラットフォームを準備できれば、短期間で生産性を向上できるだけでなく、絶え間なく進化する競争に対して将来性のある組織を効果的に確立していけるでしょう。

当然、これらの新たな機会の多くでは、新しいスキルが求められ、既存のプロセスも改善する必要があります。スキルアップして、人々を十分に支援する必要があることを受け入れる組織は、この投資がほぼ無限の可能性の形で利益をもたらすことがすぐにわかるでしょう。



参加する準備はできましたか？

このレポートの内容についてご質問がある場合、または Google Cloud が組織をどのようにサポートできるかについて詳しくお知りになりたい場合は、いつでも Google のエキスパートにお問い合わせください。

 [お問い合わせ方法](#)

方法論

Google Cloud カスタマー インテリジェンス チームは、2023年12月18日から2024年1月17日まで、410人のデータに関する意思決定者と、2024年のデータとAIのトレンドに関するグローバル規模の調査を実施しました。12月23日から1月1日までの冬休みの間、回答者の募集は一時停止しました。回答者には、データ、IT、ビジネスを担当するマネージャーから経営幹部までが含まれていました。すべての回答者は、現在データのプロダクトとサービスを使用している1,000人以上の従業員を要する組織で働いています。回答者はGoogleが研究スポンサーであることを知らず、回答者の身元もGoogleに明かされていません。

リージョン

NORAM	180
EMEA	104
JAPAC	76
LATAM	50

業種

金融サービス	74
小売（食料品店、店舗、プティック、フランチャイズ、飲食店など）	42
テクノロジー	85
その他	103

従業員数

1,000～4,999	19%
5,000～9,999	20%
10,000～49,999	30%
50,000以上	31%

役職レベル

経営幹部	14%
バイスプレジデント（VP）または同等	20%
ディレクター	43%
マネージャー	7%
リード / 責任者	4%

データ プロダクトやサービスの扱い

ハンズオン	40%
戦略 / 監督	60%

ロール

ビジネス開発	2%
IT または IS（情報技術、コンピュータエンジニアリング、セキュリティなど）	40%
ソフトウェア開発	1%
テクノロジー戦略または製品開発	11%
マーケティング / 広告 / PR	16%
オペレーション	3%
プロダクト管理	3%
調査 / 分析 / 戦略的計画	6%
セールス	1%
データサイエンス	15%

